



放課後スペースviva!
しゅくだいカフェ運営委員会
事業紹介・事業報告

●●しゅくだいカフェでの過ごし方●●



1

放課後やってきた子どもたち。まずは宿題にとりかかります。

スタッフが「やろうねー」と声かけ。わからないところはお手伝いします。

2

できたらスタッフが宿題チェック。

チェックして間違いがあれば、「ここが違うよ」と伝え、子どもたち自身が直します。

3

宿題チェックが終わったら、ポイントカードにスタンプGET！

このスタンプは貯まると駄菓子と交換できたり、特別な遊びができたりします。

4

宿題が終わったら、あとは自由！思い思いの遊びを楽しめます。

しゅくだいカフェにはいろいろな遊び道具やマンガなどがあり、友達や大人と一緒に楽しく、また一人でのんびりと、時間を過ごせます。

目的



- ①子育て世帯の
「家族だんらん（夜の2時間）」を確保
- ②放課後子どもたちが安全に安心して学べる
遊べる居場所づくり
- ③課題やハンデを持つ子どもを、自然な
コミュニケーションの中でサポートする

参加者数



活動開始から利用する子どもの登録者数が
累計448名となった。

1日平均で**11.8人**の利用があった。

開催イベント① クリスマスパーティー



12/19 しゅくだいカフェ施設内にて、クリスマスパーティーを開催しました。子どもと大人が一緒になってゲームをしたり、ドミノピザ豊中店にご協力いただき、無料で17枚のピザを提供いただき、美味しく食べました。（子ども20名、大人7名）



開催イベント② ボランティアさんご飯会



5/4 日頃からお手伝いいただいているボランティアさんに感謝の意味を込めて、ご飯会を開催しました。(15名参加)
目的としては、ボランティア先生のニーズに応えるということがあり、会社を運営している運営委員長の話を就活生のボランティアの方が聞いたり、同業者との交流をしました。



前回の中間報告会のご指摘を受けて

①各ボランティアスタッフとの連絡手段を統一した方が良い。

→全ボランティアスタッフ所属のグループを作成
大学のサークルに関しては、代表者と連絡。

連絡網を整理しました。

②ファンドレイジングができる人材の確保が必要。

→人材の確保は難しいため、ボランティアリーダーが
交流会や講習会に参加。

**月額サポーターを増やしつつ、アドバイスを
たくさんの人にもらせる場所に参加しました。**